

## 日本語の条件文による独立従属節

桑 忠林 (名古屋大学大学院)

### 要旨

独立従属節は一般の独立文のように使われた従属節であり、日本語の研究において言いさし文(白川2009)や中断節(大堀2002)として検討されてきた。白川(2009)は独立従属節と一般の独立文との類似性を指摘したのに対し、大堀(2002)は独立従属節を一種の構文として取り扱った。どちらの研究においても、独立従属節は新たな構造として論述され、本来の複文との関連が十分に検討されていない。本論文は日本語の条件文による独立従属節(以下「条件独立節」と簡略化する)を例に、コーパスに基づいた統計調査を通して、条件独立節と複文との関連を考察した。そして、条件独立節の各用法が独立的に使える度合の違いを説明した。条件独立節の形成は本来の従属節と主節との慣習的な繋がりに基づいている。従属節に一定の文内条件が揃っていると、主節の内容がある程度固まる。そのため、従属節のみを言えばよい。主節の内容は「直接表出型」と「間接描写型」に分けられるが、「直接表出型」の割合が高ければ高いほど、従属節が独立的に使われやすい。それは条件独立節の各用法が独立的に使える度合の違いの原因であると考えられる。

### 1 はじめに

日本語の条件文において、(1)と(2)のような文が観察される。

- (1) 辞めたら？
- (2) 君がいてくれたらな。

これらの文において、従属節が独立的に使われている。本研究はこのような従属節を独立従属節と呼ぶことにする。そして、条件文による独立従属節を条件独立節と簡略化する。条件独立節は一般の独立文との類似性が論述されている一方(白川2009)、本来の複文との関連についての検討が未だに不足している。本論文はそれを題目に、コーパスに基づいた統計調査を通して、条件独立節と複文との関連を考察し、各用法が独立的に使える度合の違いを説明する。

### 2 独立従属節に関する先行研究

日本語の独立従属節の研究において、その全体を考察している Ohori(1995)と白川(2009)は代表的である。それ以外に、個別の現象に絞って考察を行った劉(2016)もある。

#### 2.1 Ohori(1995) 大堀(2002)

Ohori(1995)と大堀(2002)は独立従属節を中断節(suspended clause)として扱っている。Ohori(1995)は独立従属節を、慣用的な表現の短縮型であるタイプと論理を表す接続表現が付いているタイプに分けている。前者のタイプの例としては「たら」と「ば」を挙げ、後者のタイ

プの例としては「から」と「ので」を挙げた。大堀(2002)は構文理論の観点から、独立従属節の意味論的特徴は推論集約的で、語用論的特徴は対人機能であると指摘している。Ohori(1995)と大堀(2002)は、独立従属節がすでに新たな意味を獲得したと主張している。

## 2.2 白川(2009)

白川(2009)は独立従属節を「言いさし文」として取り扱っており、日本語の独立従属節を言い残し、関係づけ及び言い尽くしの3つに分類している。「たら」と「ば」の独立従属節は言い尽くしに位置づけられており、願望、危惧、勧めの3つの用法に分類されている。

表1 言いさし文の種類 (白川 2009)

	関係づけ	言い尽くし	言い残し
主節の非存在	+	+	+
発話内容の完結性	+	+	-
関係づけられるべき事態の文脈上の存否	+	-	-

## 2.3 劉(2016)

劉(2016)は日本語の独立従属節(劉は言いさし文の名称を使っている)を「意味論的な省略による言いさし文」「語用論的な省略による言いさし文」「付加による言いさし文」の3種類に分けている。意味的な省略は、それほど文脈と関係が強くなく、主節が習慣的に省略され、本来の複文と同じ言語形式に復元できる場合を指している。一方、語用論的な省略は、主節の言語形式をそのまま復元することはできないが、同じ意味機能を持つ内容を復元できる場合を指している。劉(2016)は「たら」と「ば」による独立従属節を、意味論的な省略だと主張しており、「たら／ば(どうしよう)」言いさし文、「たら／ば(どう)」言いさし文、及び「たら／ば(よかった／いいのに)」言いさし文に分類している。

## 3 先行研究の問題点

大堀(2002)が指摘した推論集約的とは、「単なる時間上の継起や項目の並列ではなく、理由のように背後の事情についての推論を積極的にはたらかせる作業を含む意味関係である」(大堀2002: p130)。すなわち、従属節の事態に関係する事情を相手に積極的に推論させるというわけである。理由文を例にすると、次のようにまとめられる。

- P-カラ、Q (Pである、ゆえにQだ)  
 → P-、∅ (Pである、ゆえに後は察するべし)  
 → P-、∅ (Pである、それは私には重要な関心事だ)

(大堀 2002 : p129)

本論文は大堀(2002)の観点到賛成する。しかし、その観点是内省によるものであるため、実際のデータを通して、主節の内容がどのような形式で集約しているのかを検証する必要がある

と思われる。

白川(2009)は、「たら」と「ば」による独立従属節の用法を3つに分けているが、すべて言い尽くしとして同一視している。しかし、同じ「たら」の独立従属節だとしても、勧めを表す「これを使ったら?」と危惧を表す「そんなことが彼に知られたら...」では、独立的に使える度合は異なるのではないだろうか。白川(2009)はその度合を検討していない。

劉(2016)は「たら」と「ば」の独立従属節を「たら／ば(どうしよう)」言いさし文、「たら／ば(どう)」言いさし文、及び「たら／ば(よかった／いいのに)」言いさし文の3つに分ける。それらは白川(2009)の危惧、勧め、願望に対応していると考えられる。しかし、白川(2009)と同じく、劉(2016)も各用法が独立的に使える度合の問題に回答できていない。

#### 4 本研究の主張と目的

本研究は以下のことを主張する。

条件独立節の形成は従属節と主節との慣習的な繋がりに基づいている。

この主張を詳細に説明すると、このようになる。複文において、従属節に特定の文内要素が揃うと、主節は特定の内容に集約する。主節と従属節において慣習的な繋がりがすでに決まっているため、従属節のみを言えばよい。主節の内容が集約すればするほど、従属節が独立的に使える度合は高くなる。これは条件独立節と本来の複文との関連である。

本論文の目的はコーパスを通して、大堀(2002)が指摘した主節内容の集約状況を具体的に示すことである。また、集約状況に基づいて、条件独立節の各用法が独立的に使える度合を明確にし、比較する。

#### 5 研究対象の明確化

本研究は日本語における条件独立節の全般を取り扱うが、以下のような注釈的な用法は対象外とする。

(3) 鈴木 もうこれね、最初の方にね、習ったのねー。

田中 うん。

鈴木 あっ、そうだ。どんな進み具合でやるかかっていうの私、うちに置いてきちゃった。またお正月んときに持っていこうかなー、忘れなかつたら。

田中 ありがとう。忘れるだろうけど。うん、もうできちゃった。

(名大会話コーパス data079)

(4) 鈴木 えーっ、疲れたね。

田中 疲れた。

鈴木 そりゃ疲れるわ。

田中 うん。

鈴木 ご飯食べるのも忘れちゃっててさ。

田中 うんうん。

- 鈴木 家帰って、カレーライス3杯ぐらい食べて。  
 田中 わあー、すごいね。  
 鈴木 食べ過ぎた。たまっちゃった。  
 田中 でも、気分いいよね、そんなに食べたら。  
 鈴木 うん、気分よかった。

(名大会話コーパス data065)

(3)において従属節「忘れなかったら」は主節「お正月んときに持っていこうかなー」の内容について前提条件を補充している。話し手が言いたい内容は単純に正月に持っていくということではなく、忘れない場合は持っていくということである。(4)においても従属節「そんなに食べたら」は主節「気分いいよね」の内容に説明を加えている。

これらは注釈的な用法で、従属節が直前の主節の内容を説明、または補充している。複文のように従属節を主節の前に移動してよい場合もあれば(4)、移動すると不自然になる場合もある(3)。注釈的な用法では、従属節の内容が主節に付属しているため、本稿では独立従属節と認めない。

## 6 日本語の条件文による独立従属節

日本語の条件表現には「たら」、「ば」、「と」及び「なら」が挙げられるが、独立従属節でよく見られるのは「たら」と「ば」である。本稿は「たら」と「ば」を取り扱う。

### 6.1 日本語の条件独立節の意味・用法

日本語の条件独立節でよく観察される用法は、疑問文と平叙文に分けられており、次の4つが挙げられる。

#### 6.1.1 疑問文の場合

##### 6.1.1.1 提案

疑問文の場合の用法では「提案」がしばしば観察される。基本的には主語が2人称で、述語は肯定形の意志動詞である。提案の用法は「たら」と「ば」のどちらでも使える。

- (5) 田中 それはいいんだけどー、ただね、本気で汚いからー。

鈴木 ほんと？大丈夫。

田中 あのねー、ちょ、ちょ、ちょっともう見たら卒倒しちゃう、これは。

鈴木 いや、それはだいじょうぶだと思う。

田中 えっ、でもさ、これとか着てみたら？

鈴木 私、これ唯一。

(名大会話コーパス data103)

- (6) 田中 何、やっぱその能力を生かした働き口を探しているわけ？

鈴木 え、能力で。日本語の。あ、中国語の。

田中 思い切って教室開けば？免許別にいらんのやろ。

鈴木 そんなもん、無理無理。

(名大会話コーパス data116)

(5)は別の服に着替えること、(6)は中国語の教室を開くことを勧めている。

#### 6.1.1.2 結果尋ね

結果尋ねの用法では述語が自動詞や受身表現などの非意志表現、または意志動詞の否定形であることが多い。結果尋ねの用法は、相手に従属節の事態が起こった時にどう対応するのか、またはどのような結果になるのかを聞くことを表している。

- (7) 田中 例えば、その隣の校舎がね、真っ暗じゃないですか。  
鈴木 うん。  
田中 うん、あそこここう、かぎが開いてるから、1階から進入して、4階まで行って、ここう、ピアノを弾いてこい、できますか？  
鈴木 うん、できひん。  
田中 できない？  
鈴木 できない、できない。  
田中 へーえ。  
鈴木 うん。  
田中 1万円やるからって言われたら？  
鈴木 ああ、それだったら行くかな。  
田中 ふーん。

(名大会話コーパス data095)

- (8) 田中 ハンゲームのプロフィール。  
鈴木 大きくてみにくくないですか？じゃあ見なければ？  
田中 プロフィールなんて見なくても構わないから。  
(Yahoo!知恵袋「ハンゲームのプロフィール。大きくてみにくく…」)

(7)は1万円をやると言われた場合の対応行動を、(8)はプロフィールを見ない場合の対応行動を聞く用法である。(7)は受身表現を、(8)は意志動詞の否定形を使っている。

日本語の結果尋ねの用法にも抵抗の用法が見つかる。抵抗の用法は結果尋ねの用法から特別な文脈状況で生じた語用論的な意味だと考えられる。

- (9) 「そんな記録を残されたら、こっちの家庭にも迷惑がふりかかる。いますぐその考えを捨て去ってくれ」  
「いやだね」ダミアンも即座に言い返した。「ぼくの命が消え去っても、ぼくの存在記録だけは永遠に残しておきたい」  
「おまえの記録を残すのは勝手だ。だが、そこにおれのことを書き記すのだけはやめろ」  
「やめなければ？」  
「…」  
ピエール・ギャリニエは、長い間ダミアンを睨み据えたのちに言った。  
「日本人の刀で斬り殺される前に、おれがおまえをひねりつぶしてやるさ」

(吉村達也『「横濱の風」殺人事件』)

「おれのことを書き記すのだけはやめろ」という相手の要求に対して話し手が独立従属節を使って「やめたくない」という抵抗を表している。「そうしなくても君は何もできないだろう」のような相手の言葉を軽視する意味が読み取れる。

### 6.1.2 平叙文の場合

平叙文の場合でよく観察されるのは「願望」と「心配」である。

#### 6.1.2.1 願望

願望の用法は「たら」と「ば」のどちらにも見つかる。ある事態が発生してほしいという意味を表している。

(10) この苦しい心情を誰が分かってくれるだろうか。こんな時こそ、田舎の母がそばにいてくれたら。故郷に帰って母の手作りのみそ汁でも飲んだら、少しはおさまるのではないか…。(申英姫(著)金燦(訳)『私は金正日の「踊り子」だった』)

(11) 藤井 何もないの？言いたいこと。あるでしょ？

鈴田 ないです(ニヤリとする)。何もないです。

藤井 ないの？

鈴田 はい、ないです。

藤井 それはマスコミに対してないの？それともご遺族に対してもないの？

鈴田 マスコミに対してはないです。

藤井 ご遺族に対しての気持ちを、こっちに話してくれれば。

鈴田 そちらはマスコミ関係なんで…。はい。

藤井 じゃあ、次回は同席させてもらっていいんですね。あるいは、僕が鈴田さんのお宅にお邪魔しようか？

鈴田 駄目です。取材はお断りしてますんで。

(藤井誠二『殺人を予告した少年の日記』)

願望の用法は授受表現と共起する場合が多い。例(10)と(11)のどちらも授受表現の「てくれる」を使っている。授受表現は話し手への恩恵を含むため、願望の用法と一致している。

#### 6.1.2.2 心配

心配の用法は「たら」のみが使え、「ば」は使えない。受身表現と共起する場合が多い。受身表現を使った心配の用法を現代日本語書き言葉均衡コーパスで調べた結果、「たら」は9例で、「ば」は0例だった。

(12) もうそのまま放り出して知らん顔したかったが、もし締め切りの日に電話が鳴って、「どうしたんですか、まだですか。あんなに余裕を持たせておいたのにまだ書けてないんで

すか？」と言われたら。想像するに、これもたまらない

(青木奈緒『うさぎの聞き耳』)

- (13) 列は近くの角を曲がった先までくねくね延びていて、僕は胃が締めつけられそうになる。もし入れてもらえなかったらどうしよう。ほかのみんなと同じように列に並んでくれと言われたら。ドアの前でドアマンに入るのを拒まれたら。僕は深呼吸をして、デイジーの花びらを想像する。だいじょうぶ、入場を拒まれたりなんて絶対にしない。なんと言っても僕はアレグザンダーなのだし。

(村井智之『さらば、ミスター・ナイスガイ』)

心配の用法は受身表現と共起することが多いが、受身表現と共に使うと必ず心配の意味になるわけではない。心配の意味になるには、特別な文脈や動詞、副詞が必要である。(12)では「どうしたんですか、まだですか。あんなに余裕を持たせておいたのにまだ書けてないんですか？」という発話、(13)では「僕は胃が締めつけられそうになる」という状況及び動詞「拒む」などがあってこそ、心配の意味が形成されている。

## 6.2 「たら」と「ば」の違い

鶴田(1984)は、「たら」と「ば」の違いを次のように説明している。

原則1: S1 タラ S2 では、話し手は S1 が実現するかどうかは度外視して、実現した場合を想定して S2 を主張しており、S2 の主張は聞き手にとって予想不可能なことだと考えている

原則2: S1 レバ S2 では、話し手は、

(α) S2 が実現するかどうかを決めるのは S1 が実現するかどうかである。

あるいは、

(β) S1 が実現した場合には、S2 は必然的に実現する。

と考えている。

(鶴田 1984)

鶴田(1984)に従えば、「たら」は主節の内容、つまり従属性の事態がもたらす結果を強調するのに対し、「ば」は従属節の内容、つまり主節の結果が生じるための条件を強調していると言える。

「たら」と「ば」の意味特性の違いは独立従属節の用法分布によく反映されている。疑問文の条件独立節について現代日本語書き言葉均衡コーパスで「たら」と「ば」のそれぞれ 50 例をランダムに調べたところ、提案の用法では「たら」は 28 例で「ば」は 48 例、結果尋ね（抵抗を含め）の用法では「たら」は 22 例で「ば」は 2 例であった。提案の用法は従属節の内容、つまり提案内容を発話の焦点にしているため、「たら」より「ば」の意味特性に一致している。一方、結果尋ね（抵抗を含め）の用法では話し手が従属節の事態がもたらす結果に関心を持っているため、「ば」より「たら」と共起しやすいと予測される。

## 7 複文における本来の用法との関連

### 7.1 複文の用法

日本語の条件独立節の各用法は複文の中でも観察される。

#### 提案

- (14) 多分、まだ本当の意味での友達ではないと思いますので、彼女は彼女の人生として、今を認めてあげたらどうでしょうか？

(Yahoo!知恵袋「私の友達〔二十九歳女性〕にはつきあってる彼氏がいます…」)

- (15) 過去の彼のことを思い出すのは、現在のいろいろな問題から逃げたいのではないですか？現実逃避の一つでは？旦那さんとよく話し合ってみればどうですか。親友でもいいと思います。(Yahoo!知恵袋「5年前に別れた彼氏の事を、最近になって頻繁に…」)

#### 結果尋ね

- (16) 世界の女子マラソンが大幅にレベルアップすると当然女子だけのマラソン大会を望む声が大きくなった。そんな中で行われたのが、千九百七十九年秋の国際陸連公認・第1回東京国際女子マラソンである。日本陸連は不安だった。なにしろ女子だけのマラソンを主催するのは初めて。果たして選手に最後まで走り切る力があるのか。もし倒れる選手が続出したらどうするか。(中国新聞「五輪の扉開く」)

- (17) 雇用保険には、強制的に入らないと駄目だと聞いたのですが、もし、入っていなければどうなるのでしょうか。(Yahoo!知恵袋「1年半バイトで働いているんですが…」)

#### 願望

- (18) この映画は、僕たちがリスペクトするサムライと日本の文化に贈るプレゼントなんだ。もう武士道についてなら何時間だって喋れるくらいだよ(笑)。サムライ・スピリットが持つ力を、みんなに伝えられたら嬉しいね！

(佐藤睦雄等『Weekly ぴあ』)

- (19) 洋服は吊るして保管するが和服は折りたたむものである。今はそういう経験をした人は少数だと思うが、縫い目に合わせて折り、袖を返して、襟と襟を合わせる一連の過程を体験すれば、「折る文化」の深さを実感できるだろう。折りたたまれることを前提にして和服はつくられている。たたみ方を調べて、ホテルの浴衣でも試してみればいい。

(山本直人『グッドキャリア』)

#### 心配

- (20) この仕事をくびにされたら困る。

(Hart, Jessica (著) 高田恵子 (訳) 『秘書の憂鬱』)

- (21) もしも、今回の件が、対抗勢力の議員に知られたら、とんでもないことになるからね。

(夢枕獏『荒野に獣嚙らす』)



日本語の願望、心配、提案、及び結果尋ねの用法はすべて新しい用法ではなく、本来の複文の用法と関連していると考えられる。ただし、独立従属節は形式的に主節がなくなっており、グライスの協調の原則(cooperative principle)の様態の公理(maxim of manner) (Grice1975)に違反しているため、語用論的な意味が本来の複文とは異なると考えられる。

## 7.2 主節内容の集約性

先行文献(白川 2009 等)を参照したうえで、コーパスの用例を考察した結果、常用の日本語の条件独立節の用法が成り立つには、少なくとも次のような文内要素が必要であることが分かった。

表 2 条件独立節の成立に要求される文内要素

用法	提案	結果尋ね	願望	心配
文内要素	①2人称主語 ②意志動詞述語	①「提案」以外の疑問文	①期待する事態	①期待しない事態

独立従属節の用法が成り立つのに、願望と心配、結果尋ねの用法は1つの条件を、提案の用法は2つの条件を満たさなければならない。それぞれの用法の主節内容の集約状況を明確にするために、本稿では、複文を観察対象とし、現代日本語書き言葉均衡コーパスで50例ずつの用法を考察した。用例採集に当たっては、表2の文脈条件を更に具体化し、表3のような条件を設定した。

表 3 検索用の各用法の文内要素設定

用法	文内要素
提案	疑問文、2人称主語、意志動詞述語
結果尋ね	「提案」以外の疑問文
願望	授受表現「動詞活用形+てくれる」、期待する事態
心配	受身表現「動詞活用形+(ら)れる」、期待しない事態

次に、日本語の「たら」と「ば」、及び表3の文脈条件を検索条件として、用例採集を行い、複文における主節の内容を観察した。このことによって、独立従属節の各用法と同等の文脈条件を持った複文の例を考察することが可能になる。

考察の結果、それぞれの用法において主節の内容は次のような分布を示していた。

表 4 主節の内容分布

従属節の内容	主節の内容	割合
提案	「どう?」「どうなの?」	58%
	「いいじゃない?」	34%
	具体的な結果や出来事に対する質問	8%
結果尋ね	「どうする?」「どうなる?」	28%

	「いいのか」「いいの？」	8%
	具体的な結果や出来事に対する質問	64%
願望	「いいな」「嬉しい」「OKだ」「十分だ」	70%
	感情・評価を表す具体的な結果や出来事	30%
心配	「困る」「不利だ」「たまらない」「大変だ」	56%
	感情・評価を表す具体的な結果や出来事	44%

### 7.2.1 平叙条件独立節と複文

主節の内容は、「いいな」「嬉しい」のような話し手の感情や評価をそのまま伝える簡単な言語表現と、具体的な結果や出来事を通して話し手の感情や評価を表す複雑な表現に分けられる。前者を「直接表出型」、後者を「間接描写型」と名付ける。直接表出と間接描写は話し手の感情や評価を表す点で共通している。

直接表出型と間接描写型の用例を追加しておこう。

#### 直接表出型（平叙文）

- (22) 「賃貸契約書を持ってきたので見てほしい。もちろん、君の弁護士にも目を通してもらってくれればいい。だが、五分ほど話す時間を割いてくれないかな」  
(ベニー・ジョーダン（著）／樋口容視子（訳）『たそがれの林檎園』）（願望）
- (23) 「ペンタゴン」って一体何なんでしょう？私の想像する限り、怪獣？の名前だと思うんですけど。真面目に答えてくれたら嬉しいです。お願いします。  
(Yahoo!知恵袋「真面目に質問なんですけど、カテが違ったら…」）（願望）
- (24) 不安が驚きに変わり、驚きが恐怖となった。一步踏み出したが、あわてて周囲を見廻す。  
—いけない—  
狼狽をだれかに知られたら、まずい。  
(阿刀田高『鈍色の歳時記』）（心配）

(22)-(24)は、主節で、それぞれ「いい」、「嬉しい」、「まずい」のような一語の形容詞を使って話し手のその場の気持ちをそのまま表している。

#### 間接描写型（平叙文）

- (25) 最終回では名曲『スタンド・バイ・ミー』を曲に入れて、ソロパート担当が喉を痛めたりするアクシデントもあったものの、無事にロイヤル・アルバート・ホールというロンドンの大きな劇場で立派に歌い上げるまでの描いたものでした。これDVD出してくれたら絶対借りたいなあ。こんなドキュメンタリー日本でももっと増えて欲しいですよ。  
(Yahoo!ブログ「NHK-B Sでガンバ v s グランパスの天皇杯を見ていて…」）（願望）
- (26) 喫茶店で最初に水がでてくるのと同じような概念で日本茶を考えて店ではサービスして

るんだとおもいます。水でなくて、日本茶を無料でサービスすることでお客さんがほっとしてくれれば、店のイメージはアップするでしょう。でも、ウーロン茶は日本に「あってあたりまえ」ではないからかな。

(Yahoo!知恵袋「ウーロン茶とお茶はどちらもコンビニで同じ値段で…」)(願望)

- (27) “お局さま”とは、自分だけ高慢になって、陰で若い社員にいじわるをする人をいいます。もっといえば陰険な人です。若い部下からそう見られたら、職場では、もううまくいきません。

(桜井秀勲『女が30代で自分を変える生きかた』)(心配)

(25)-(27)は、「絶対借りたいなあ」や「店のイメージはアップするでしょう」のようなより複雑な構造で事態の結果を描写することを通して話し手の愉快さや期待、あるいは残念な気持ちや心配の気持ちを表している。

表4から見ると、平叙文の条件独立節の用法である心配と願望の用法は複文に復元すると「従属節+主節(感情・評価)」の組み合わせになる。文内要素条件が備わっていれば主節の内容は必ず話し手の感情や評価を表すため、主節を言明しなくてもよいと考えられる。平叙文の条件独立節と本来の複文とのつながりはそこにあるのではないだろうか。

表4に基づいて平叙文の用法における従属節と主節の組み合わせの割合を比較すると次のようになる。

表5 平叙条件独立節の主節と従属節の組み合わせの割合対照

用法	願望	心配
従属節+直接表出型	70%	56%
従属節+間接描写型	30%	44%

平叙文の用法において、主節内容の過半数は「直接表出型」である。森山(2008)によると、日本語は「主体的把握型言語」である。すなわち、日本語は自己を中心にしており、「嬉しい」や「痛い」などの気持ちや感情を直接言語化する傾向がある。このことが、日本語で「従属節+直接表出型」の組み合わせが多い原因だろう。

聞き手側から考えると、条件を表す従属節が独立的に使える理由は主節の内容が復元できることであろう。したがって、主節の内容が簡単に復元できればできるほど従属節は独立的に使える。「従属節+直接表出型」において、主節の内容は「いいな」や「嬉しい」、「困る」のような簡単な形容詞や動詞に過ぎず、復元しやすい。それに対し、「従属節+間接描写型」では、主節の内容が複雑で統一できない事態のため、復元が難しくなる。

表5から分かるように、願望の用法を複文の用法に復元し、主節の内容を観察すると、「従属節+直接表出型」の割合が70%に上ることが分かった。それは、願望の用法の条件独立節を使う場合、聞き手に想像させる主節の内容の中で、70%の内容が直接表出型であることを示している。すなわち、願望の用法の条件独立節を複文に復元するならば、70%の場合、主節の内容が簡単に復元できる。それと同じく、心配の用法の条件独立節の場合、56%の場合、主節の内容が簡単に復元できる。主節の内容が復元されやすいほど、条件独立節の用法が成立しやす

いことから考えると、願望の用法が心配の用法より成立しやすと考えられよう。したがって、心配の用法と比べると、願望の用法のほうが条件独立節として独立的に使える度合いが高いと考えられる。

### 7.2.2 疑問条件独立節と複文

疑問文の条件独立節において従属節と主節の組み合わせの割合は次のような分布を示している。

表6 疑問条件独立節の場合の主節と従属節の組み合わせの割合対照

用法	提案	結果尋ね
従属節+直接表出型	92%	36%
従属節+間接描写型	8%	64%

結果尋ねの用法において、直接表出型の主節は従属節の事態がもたらす結果に対して「どうする？」や「どうなる？」のように話し手の疑問をそのまま伝えているのに対し、間接描写型は従属節の事態がもたらす結果や出来事を具体的に述べ、確認や質問を表現している。どちらにおいても「従属節+主節（結果への質問・確認）」という組み合わせが決まっているため、主節が消えると従属節が独立的に使える。

「結果尋ね」における直接表出型と間接描写型の用例を追加する。

#### 直接表出型（疑問文）

- (28) 「はっきり言えよ、闘いが起きてどうなるんだよ」天鳥はせつついた。もってまわった言い方をされるのは好きではない。苛々と膝を揺すって、聡一郎の言葉を待った。  
「明王が勝てば何も起こらない」  
「それぐらい、おれにだってわかるよ。問題は負けた場合だろ？負けたらどうなるんだよ」聡一郎はひと呼吸置いてから、低い声で言った。

(六道慧『羅刹王』) (結果尋ね)

- (29) 精神科の医師は、眠れなければこれ、それでも眠れなければこれをのみなさい、といます。すると、患者さんが、それでも眠れなければどうしますか、と聞く。じゃあ、そのときのためにはこれもと、三段階くらいの睡眠薬をだすことがあります。

(小沼谷坪『新・病氣とからだの読本』) (結果尋ね)

(28)-(29)は、「どうなる？」および「どうする？」などの慣用化された表現、または簡単な表現で従属節の事態がもたらす関連の事態、あるいは従属節の事態がもたらす結果について直接尋ねている。

日本語の提案の用法に関して、直接表出型の主節の内容は「どう？」や「いいじゃない？」のように聞き手の意見を直接尋ねる簡単な表現なのに対し、間接描写型の主節内容は従属節がもたらす結果を具体的に述べ、聞き手の意見を聞いている。従属節と主節の内容は「従属節+主節（意見尋ね）」という組み合わせに決まっているため、従属節のみでも使える。

- (30) でも自分の子供だとまた見え方が違うと思いますよ。うんこだっておしっこだってするし夜泣なんてのもありますが皆ちゃんと育ててきましたからね。だから心配せずに子供を持ってみたらいいんじゃないですか？

(Yahoo!知恵袋「自分は男です。子供が嫌いです…」)(提案)

- (31) 店員の質が問われますね。胸に名札を付けている筈ですから、覚えておいて責任者に言いましょ。また、ホームページにも「質問箱」みたいなモノがある筈ですから、投書しましょ。特にヤ○ダ電機全体が悪い訳ではないので、その店員を避ければどうですか？

(Yahoo!知恵袋「家電はどこで買いますか？ヤ○ダ電機って…」)(提案)

(30)と(31)は「いいんじゃないですか」と「どうですか？」を通して聞き手の意見をそのまま聞いている。

#### 間接描写型(疑問文)

- (32) 日本の国債発行残高が、九千九百九十九兆... 円を超えてしまったら、その先の桁はあるのでしょうか？とても気になります。数学に詳しい方、是非教えてください。

(Yahoo!知恵袋「日本の国債発行残高が、九千九百九十九兆…」)(結果尋ね)

- (33) J R 東海道線の湘南ライナーは、座席料金の五百円を払わなくても座らなければ乗れますか？湘南ライナーかはわかりませんが東海道線の座席のみの白い電車はドア前の立ち乗りなら乗れますか？

(Yahoo!知恵袋「J R 東海道線の湘南ライナーは、座席料金の五百円…」)(結果尋ね)

(32)-(33)は、「その先の桁はあるのでしょうか？」と「座らなければ乗れますか？」のような複雑な文構造を通して具体的な関連の事態、あるいは結果を描写しており、その事態、あるいは結果に対して確認や質問をしている。

- (34) 「...いま、老人の家族も、老人の対応にどうしていいかわからないでいるのよ。お食事をどうしよう、楽しみはどうしよう、買い物は？とか。ホテルに来れば何でも片付くようにすれば、老人にも家族にもラクだと思うわ。老人優待のプランを出したら、利用者が多いんじゃない？」

「そうですね...」

(犬養智子『パパは96歳』)(提案)

- (35) アレンジをそのまま白い陶器にあしらったもの。これはこれで問題はありますが、右に比べると個性、華やかさという点では少々見劣りがするの事実です。色違いのデルフィニウムでふわふわ花いっぱい！

プロからのアドバイス

このアレンジは、ジャイアント系デルフィニウムのボリュームと高さを生かしたもの。

1本の単価は高めですが、花がみっちりついてゴージャスだし、高さもあるので、本数が少なくても華やかなイメージになります。かつ、色のパリエーションをうまく利用すれば、シンプルないけ方で絵になるでしょう？

(坂本典子『花時間』) (提案)

同じ提案の用法であるものの、(30)と(31)と異なり、(34)と(35)は「利用者が多いんじゃない?」、「シンプルないけ方で絵になるでしょう?」という表現を通して、より具体的な事態、あるいは結果を描写し、聞き手の意見を確認することによって結果的に聞き手の意見を聞いている。

表6から見ると、提案の用法の条件独立節を複文に復元すると、主節の内容の92%が直接表出型であった。提案の用法の条件独立節を使う時、92%の場合、聞き手が主節の内容を簡単に復元できると考えられる。同じく、結果尋ねの用法の場合、聞き手が主節の内容を簡単に復元できる場合の割合が36%にすぎない。主節の内容が復元されやすいほど、条件独立節の用法が成立しやすいとすると、提案の用法のほうが結果尋ねの用法よりかなり成立しやすい。言い換えれば、提案の用法のほうが条件独立節として独立的に使える度合が高いと考えられる。

## 8 おわりに

日本語の条件独立節が成り立つ理由は、従属節に特定の条件が揃うと主節の内容が特定の内容に集約することである。すなわち、従属節と主節にはすでに決まった繋がりがあるため、主節の内容を言わなくても、従属節のみで意味が通じる。

コーパスで調査したところ、平叙文の場合、願望と心配の用法において、「従属節+直接表出型」の割合がそれぞれ70%と56%であった。心配の用法より願望の用法は慣習化されており、独立的に使える度合が高いと推測される。一方、疑問文の場合、提案の用法の92%は「従属節+直接表出型」で、従属節を単独で使える度合が極めて高いと推測できる。結果尋ねの用法は4割程度が「従属節+直接表出型」であり、独立的に使えるものの、使用可能の度合が提案の用法ほどは高くない。

独立従属節は話し言葉でよく観察される現象であるため、今後の課題として、実際の母語話者に対して、インタビューやアンケート調査を行い、独立従属節の様々な用法に対する容認度を考察する。また、本論文で考察した条件独立節以外に、理由節と逆接節も研究対象に入れたと考えている。

## 参考文献

- エドワード・T・ホール(1993)『文化を超えて [新装版]』阪急コミュニケーションズ  
 袁青 (2017) 「日本のドラマにおける言いさし文と中国語字幕の翻訳戦略 —ポライトネスの観点から—」『通訳翻訳研究への招待』17  
 大堀壽夫 (2002) 『認知言語学』東京大学出版会  
 白川博之(2009)『「言いさし文」の研究』くろしお出版  
 田泉 (2015) 「中国語における「けど」類で終わる「言いさし」の扱い方」『一橋大学国際教育センター紀要』6: 95-108  
 鶴田庸子(1984)「日本語教育のためのタラとバの分析」『日本語教育論集1 日本語教育長期専門研修昭和58年度報告』国立国語研究所

森山新 (2008) 『認知言語学から見た日本語格助詞の意味構造と習得』 ひつじ書房

Evans Nicholas, 2007, Insubordination and its uses, *Finiteness: Theoretical and empirical foundations*, Irina Nikolaeva (ed.) Oxford University Press, Oxford

Grice, Paul H, 1975, Logic and Conversation. *Syntax and Semantics*. Peter Cole and Jerry Morgan (ed.) Academic Press, New York, pp. 41-58,

Ohori Toshio, 1995, Remarks on suspended clauses : A Contribution to Japanese phraseology. *Essays on Semantics and Pragmatics*. Shibatani Masayoshi and Sandra A Thompson (ed.) John Benjamins, Amsterdam, pp. 201-218

例文出典

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 国立国語研究所

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>

『名大会話コーパス』 国立国語研究所

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/nuc/search>

